

平成28年度 商店街若者協働プロジェクト事業

第3回若者チームWS次第・議事録

平成28年 6月10日

【次第】

- 18:30 まかない夕食
↓ 会場の使用説明
18:55 後片付け
19:00 開会
参加者自己紹介（メンバーリスト）
本事業の概要説明
【質疑応答】

19:30 WS

<会場使用説明>

- ① 私物は別場所に集積すること
当面は筆記用具程度でOK
- ② まかない夕食は基本セルフサービス
- ③ 飲料もセルフで、冷蔵庫利用可
食器、カップ等は洗い物かごへ
- ④ 飲食後はゴミ分別集積のこと
- ⑤ トイレの位置、使用方法確認
- ⑥ 事務機等利用可、使用方法は順次
事務用備品類、コピー機等

テーマ「具体案Aについて、関連情報（先進地）を知り、

事業計画について話し合ってみよう！」

具体案A 商店街内の新しい拠点の開設
※首都圏先進地視察報告、地域内空き店舗情報、
※平成25年度街なか賑わい事業報告書
（区役所本館跡地利用計画案を参照）

- 20:30 発表会（情報の共有化作業）
20:45 分科会（具体案B、具体案C、その他）

21:00 閉会

今年度のスケジュール

- 7月 8日（金）第4回若者チームWS
7月22日（金）プロジェクト意見交換会
8月 5日（金）第5回若者チームWS
8月26日（金）第6回若者チームWS
9月15日（金）第7回若者チームWS
10月14日（金）第8回若者チームWS
11月11日（金）第9回若者チームWS
11月25日（金）プロジェクト意見交換会
12月16日（金）第10回若者チームWS

研修・イベント等スケジュール

- 6月12日（日）先進地視察【中止】
6月15日（水）コミュニティビジネス講座
13:30～15:30
先着2名程度（鹿野、佐々木）
6月29日（水）コミュニティビジネス講座
13:30～15:30
7月30日（土）商店会祭り
アルバイト1名 15時～22時
8月20日（土）第49回葛天
アルバイト10名募集 15時～22時
まかない付、1日5,000円
10月16日（日）第50回葛天
アルバイト10名募集 8時～15時
まかない付、1日5,000円

11月 3日（祝）キテミテキタク2016

第3回若者チーム議事録 登録メンバー

平成28年 6月10日現在

NO	氏名	所属等	住所	出身	
1	いまの 今野 佑紀	高志中等一貫高 3年	白新町	地元っ子	
2	おおかわ 大川 真穂	豊栄高校 3年	上大口	地元っ子	
3	おくむら 奥村 郁美	新発田商業高校 3年	かぶと山	地元っ子	欠
4	すずき 鈴木 ちなみ	新潟医療福祉大学 1年	白新町	宮城県栗原市	欠
5	かの 鹿野 愛恵	新潟医療福祉大学 2年	太田甲	宮城県大崎市	
6	ささき 佐々木 陽菜	新潟医療福祉大学 2年	白新町	福島県郡山市	
7	ふかや 深谷 実里	新潟医療福祉大学 2年	下大口	新潟県寺泊町	
8	さとう 佐藤 望美	新潟医療福祉大学 2年	石動	山形県高根市	
9	ほんま 本間 沙季	新潟医療福祉大学 2年	白新町	新潟県柏崎市	
10	ほんだ 本田 和輝	食育保育専門えぷろん 2年	前新田	地元っ子	
11	かんの 菅野 亘	新潟医療福祉大学 4年	木崎	福島県郡山市	
12	いしくろ 石黒 咲	新潟医療福祉大学 OB	下大口	秋田県秋田市	欠
13	しまくら 島倉 昌志	豊栄駅前通商店街	白新町	地元っ子	
14	いのつめ 猪爪 拓也	新潟医療福祉大学 4年	栄町	新潟県柏崎市	
15	おおしま 大島 郁海	新潟医療福祉大学 2年	下他門	新潟県柏崎市	
16					
17					
18					
19					
20					
	氏名	所属等	住所	備考	
委員長	ながおか 長岡 敏郎	駅前通商店街 理事 長岡屋	白新町	神奈川県	
事務局	よこやま 横山 正隆	// 理事 横山産業	上大口	地元っ子	
会計	とよさき 豊崎 善弘	// 理事 とよさき時計店	白新町	地元っ子	
運営	しまくら 島倉 尚志	// 理事 島倉駅前薬店	白新町	地元っ子	
運営	よこやま 横山 とねよ	// 横山産業	上大口	宮城県	
担当	よしざわ 吉澤 裕太	新潟市北区産業振興課	東区	新潟市東区	

WS テーマ「具体案 A の、事業計画について話し合ってみよう！」

① 食堂、飲食を中心とした機能<今野・本田・島倉・菅野>

<検討・発表内容>

子供食堂を想定した（月1～2回）
NPO法人あるいは個人による事業主体
ボランティアや食材の持ち寄り期待
夜間営業店舗の空き時間を利用する手もある

<質疑・アドバイス>

- まずは目指す拠点のイメージを明確に伝えることが先決で、そこから議論を始めよう。
- 月1～2回程度で賑わい創出ができるのか？
- 主婦シェアリングや国際交流カフェなど「食」に関するバリエーションを組み込み賑わいを創出したい。
- 孤食解消という目的と賑わい創出という目的を同時に達成できる方法を検討しよう。
- もっと様々な手法を抽出して検討しよう。

② BOX ショップなど物販を中心とした機能<鹿野・佐々木・大島・深谷>

<検討・発表内容>

ハットメイドを中心としたチャリティショップを目指す。
見附市 Pine のような女性向けのBOXショップ
新たなNPOを設立し事業主体とする。
（学校・学生・商店街・地域団体 等）
広告宣伝が一番重要（チラシ、SNS、ネット）
BOXショップの出店者募集は比較的可能？
設備費は公的資金・助成制度を利用し、運営費
（家賃・光熱費・人件費）は自主財源が必須

<質疑・アドバイス>

- 店舗イメージはわかり易いが、個性的な出店者を募集することは可能だろうか？
- また、対象客となる若い女性は居るのか？他地区からの集客力は品揃えで決まる。
- 見附市や新潟市内の同様な店舗との競争に勝てるだけの魅力的な店舗を目指さなければ。
- グリマーケット（不用品）とハットメイドは別物。
- 学生が卒業時に不要な物品を取り扱ってもよい
- 公的資金や助成制度は使えるが、運営費については店舗での売上に依存せざるを得ない。
- 楽観的に考え夢を描いていて楽しそう。

③ 道の駅的な社会福祉活動を中心とした機能<佐藤・猪爪・大川・本間>

<検討・発表内容>

旧「街の駅」の場所を想定した。
畳スペースがあって、高齢者を呼び込み易い。
キッチン、トイレの設備が完備されている。
囲碁・将棋・書道など行政ではない活動中心
介護講習、認知症予防運動
高齢者が子供を見守る託児所機能。
若者向け「駄菓子屋」かき氷やアイスクリーム販売

<質疑・アドバイス>

- 高齢者を一括りにしては視野が狭まる
リヤヤ世代はまだ若い。麻雀などのほうが・・・
- 高齢者ほど足腰が弱くなるので、畳はマットでは無くなりつつある。テーブルの方が喜ばれる
- 福祉的拠点となると「お茶の間」的な拠点だが商店街地域に無ければならない理由付けは薄い
商店街地域の賑わいという課題とコンセプトをどう結びつけるのか？という論拠を持つ必要あり
- 論理的に整理した上で、地域の方々に提案して議論を深める方向で整理したい。